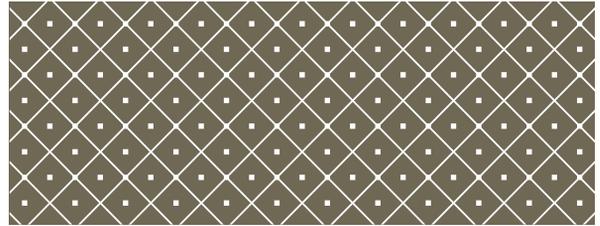


修学旅行を本当の学びに変えた 国際交流壁画共同制作プロジェクト

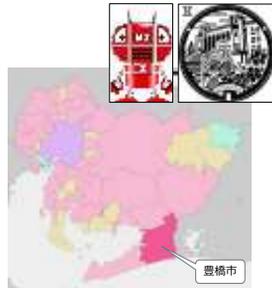
豊橋中央高等学校
副校長 高倉嘉男



背景

豊橋市

- 人口：37万人
- 中核都市。東三河地域の中心都市。
- 鉄道交通の要所。豊橋駅は、JR東海道新幹線、JR東海道本線、JR飯田線、名鉄名古屋本線、豊橋鉄道渥美線、豊橋鉄道東田本線（路面電車）の結節点。
- 農業都市。長年、農業産出額全国1位だった。しそ、冬瓜、洋ラン、うずらなど全国1位。
- 港湾都市。三河港は全国1位の自動車輸出入港。
- 市内小中学校74校がユネスコスクールに加盟。



私立 豊橋中央高等学校

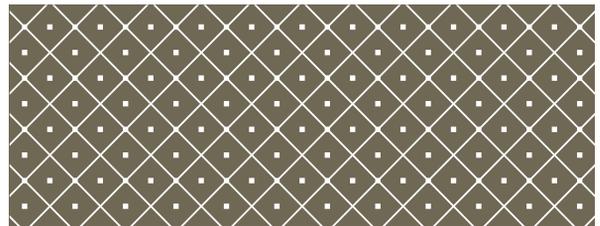


- 創立：1923年
- 建学の精神：和
- 生徒数：約900名
男女比6:4 1学年8-9クラス
- 教職員数（専任）：60名
- 普通科特進、スポーツ、普通コース
家政科
- 2014年度にユネスコスクールに加盟。
Cf. 2014年に名古屋でESD世界会議

修学旅行

- 学年：2年生
- 時期：例年3月上旬 4日間
- 普通科特進コース：海外（台湾）
テーマ：異文化交流、日本の海外貢献学習
- 普通科スポーツと普通コース+家政科：国内（沖縄）
テーマ：平和学習
- 通常、2学期から事前学習を行ってきた。
- 台湾は生徒の間で人気がない。
- 学校交流をもっと盛り上げたい。

2016年3月2日 台北市 西松高級中学



ジャパンアートマイル 国際交流壁画共同制作プロジェクト

参加クラス

- ・ 2年A組 (特進クラス)
- ・ 人数: 25名+留学生2名 (ドイツとスイス)
- ・ 男女比: 17:8
- ・ 担任: 高倉嘉男+佐藤典子



目的

- 台湾修学旅行に対する意識を高め、台湾のことを自主的に学ぶ姿勢を身に付ける。
- 海外の同世代の若者たちと交流し、国際感覚を身に付ける。
- 海外からの日本に対する考え方に触れることで、日本を相対的に見る視点を身に付ける。
- 英語を学ぶ意味や面白さを知る。
- 学級の団結を深める。

参加申込 (5月)

<ul style="list-style-type: none"> ● 修学旅行と融合させられる ● 校内の理解が得られやすい ● パートナーと会える ● 時差1時間 ● IIMEの独立性が失われる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分の得意国 ● 強烈な異文化 ● 生徒が会いに行けない ● 学力・コミュカに大きな差 	<ul style="list-style-type: none"> ● 未知の世界を知れる ● どこになるか分からない

台南市 国立善化高級中学



相手クラス

202 Mr. Chi-Chen Wu (サム) 40名 203 Ms. Yu-Ting Su (モニカ) 36名



担当者サムと友情を深める

8月17日にサムが名古屋を個人旅行で訪れ、観光案内をする。

6月22日にサムと教師同士のビデオ会議を行い、スケジュールシートを完成させる。

ビデオ会議の日時を決定

1. 9月12日 (月)
2. 9月26日 (月)
3. 10月24日 (月) ⇒ 31日 (月)
4. 11月14日 (月)
5. 12月19日 (月)
6. 2月20日 (月)

14:25-15:00JST
(13:25-14:00TST)

	月	火	水	木	金
1 8:00-9:00	現代文B	体育	保健	数学Ⅱα	地学基礎 生物
2 10:10-10:50	C英語Ⅱ	体育	C英語Ⅱ	体育	数学Ⅱβ
3 11:10-11:50	古典B	理科基礎演習Ⅰ 英語表現Ⅰ 地理	理科基礎演習Ⅰ 英語表現Ⅰ 英語	現代文B	数学Ⅱα
4 12:10-12:50	書道Ⅰ	数学Ⅱβ	世界史Ⅱ 日本史Ⅱ 化学	地学基礎 生物	世界史Ⅱ 日本史Ⅱ 物理基礎 数学Ⅱ 専攻体育
5 13:10-13:50	総合的学習の時間	C英語Ⅱ	英語表現Ⅱ 専攻体育	古典B	数学Ⅱ 専攻体育
6 14:10-14:50	HR	世界史Ⅱ 日本史Ⅱ 物理基礎	数学Ⅱ 専攻体育	世界史演習Ⅱ 日本史演習Ⅱ 化学	英語表現Ⅱ 日本史演習Ⅱ 専攻体育
7 15:10-15:50	数学演習	国語総合Ⅰ	国語総合Ⅰ	英語演習Ⅰ	英語演習Ⅰ

IME以外の交流プログラム



修学旅行事前学習

八田與一についてのアニメ鑑賞



台湾史講座

中国語講座



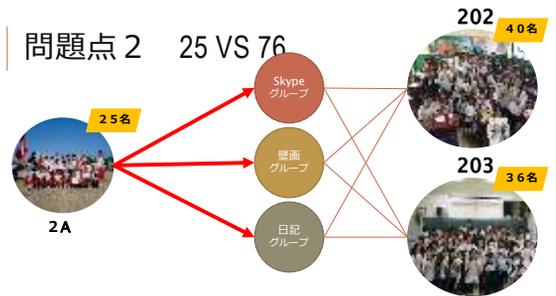
工夫した点



問題点1 FACEBOOKに頼りすぎ



問題点2 25 VS 76



9月12日 自己紹介



19

9月26日 地域・学校紹介



20

9月26日 地域・学校・文化紹介



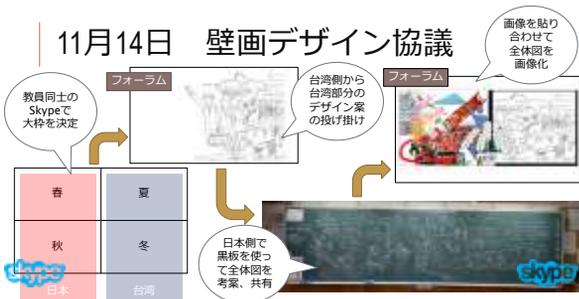
21

10月31日 文化紹介



22

11月14日 壁画デザイン協議



23

12月から壁画制作開始



24

完成壁画と共に記念撮影



成果

- 台湾修学旅行に対する意識を高め、台湾のことを自主的に学ぶ姿勢を身に付ける。
⇒相手校から台湾の文化紹介があったため、自分で調べなくても興味を持てたのではないかと。
- 海外の同世代の若者たちと交流し、国際感覚を身に付ける。
⇒最初は交流を面倒臭がっていた生徒たちも、大歓迎を受け、皆一様に感動し、一転して積極的に交流していた。
- 海外からの日本に対する考え方に触れることで、日本を相対的に見る視点を身に付ける。
⇒親日国であり、日本の製品が多く使われている台湾で、日本について考えた生徒もいた。
- 英語を学ぶ意味や面白さを知る。
⇒英語系の学部への進学に変更した生徒が数人出た。
- 学級の団結を深める。
⇒とうかな…。

今後の課題

- 修学旅行の海外コース訪問国はしばらく台湾から変更する予定がない。このまま善化高級中学と同様の形で交流を続けていく場合、IIMEで同じ学校同士のペアリングは2年が限度とのことで、来年度以降、IIMEとは独立させる必要がある。別の学校とIIME+修学旅行の形で続ける場合、適切な学校が見つかるかどうか確認はない。
- IIMEの相手国が訪問国になるという形態の修学旅行は難しい。
- 今後、IIMEへの参加クラスを増やして行きたいという気持ちもあったが、実際に実施したところ、複数の壁画を作成かつ保管できるような広い場所が本校には余っていないことに気が付いた。
- 高校において正課の中にIIMEを組み込むことは大きな課題。

